

ごあいさつ

初めまして！由利本荘市出身の30歳あわのきほです。

私は子育てをするなかで、地域や社会に様々な課題を感じるようになりました。特に、地域格差や差別といった問題は、私たちの暮らしに深く影響していると思います。

例えば、東京都では少子化対策として、子ども手当とは別に毎月5,000円の給付金が支給されています。さらに来年度からは、給食費の全額公費負担や第1子からの保育料無償化も予定されています。しかし、同じ日本でありながら、地方の私たちはそのような恩恵を受けられません。このような格差を感じながら生活をしなければならない現実には、私は強い疑問を抱いています。

また、国の政策として3人目以降の子どもを優遇する一方で、子ども一人ひとりにかかる負担が軽減されない現状や、日本人学生よりも海外留学生を優遇するような差別に対する嘆きもSNSで幾度となく見かけます。これらはさらに少子化を進め、格差を拡大させる原因になっていると感じています。

由利本荘市は、過去10年で人口が約15,000人も減少しています。それに伴い、市民の暮らしを支える税収も減少傾向にあり、地方交付税にいたっては、2020年には前年度から約1億7,000万円近くも減少しました。この状況を見ているだけでは、子どもたちの健やかな育ちも、若者たちの学びも、現役世代の安定した暮らしも、高齢者の安心できる老後も、支えていくことができません。

私は由利本荘市をあきらめたくないのです。これ以上都市部と地方の格差を広げないためにも、未来の由利本荘市がもっと暮らしやすい地域になるためにも、私は由利本荘市に生まれ、育ててもらい、次の世代を育てている親として故郷を守りたいと思っています。



PROFILE

栗野 希穂

あわの きほ

経歴

2007年3月 由利本荘市立鶴舞小学校 卒業

2010年3月 由利本荘市立本荘南中学校 卒業

2013年3月 秋田県立由利工業高等学校 機械科 卒業

2015年3月 聖霊女子短期大学
生活文化専攻 文化コミュニケーションコース 卒業

▶ 在学中、アメリカのメリーランド州にあるノートルダム大学へ留学したことで多様な価値観を知ることができました。

2015年4月 株式会社京王百貨店 入社・新宿店に配属

▶ 英語でのコミュニケーションができたことから、海外インバウンドのお客様対応をしていました。

2020年4月 羽後信用金庫 入庫

▶ 結婚出産を機に由利本荘市に戻り、地域に貢献したいという思いから入庫。外回りや窓口業務でたくさんの方に出会い、地域について深く考えるようになりました。

2023年3月 子育て支援団体“おさがりっこ”を設立・副代表就任

▶ 仕事の傍ら、由利本荘市プロモーション会議1期のメンバーとともに設立。子どもの遊び場の提供や子ども服のおさがり交換会の運営に携わってきました。イベントは大盛況で、自分たちでも少しずつ地域を変えていけることを実感しました。

2024年3月 羽後信用金庫 退職

▶ 政治から地域を変えていこうと決意。現在は、市議主催のワークショップで知り合った小川のりよさんの政治活動を手伝いながら自らの政治の道に向かって勉強中です。

由利本荘市に希望を。
あきらめない挑戦が未来をつくる。

あわの きほ

Awano
Kiho

あわのきほ事務所
(立憲民主党秋田県第3区総支部)

〒015-0074 由利本荘市桜小路43-7藤丸ビル2階
TEL 0184-74-7107 FAX 0184-74-7108
MAIL awanokiho@gmail.com

公式SNS



由利本荘市に希望を。あきらめない挑戦が未来をつくる。



1 子育て・教育 安心して子育てができる、 未来を育むまちへ

地域の未来を担う子どもたちを育てるために、教育環境の充実と学習支援を強化します。一時保育の拡充で子育て世帯の負担軽減と子どもの成長を支えます。

- ファミサポの利用促進。一時預かりの環境を整備。
- 給食費の無償化を実現し、経済的負担を軽減。
- 公園の充実。猛暑でも安全に遊べる日陰や設備を整備。
- 学力格差を広げないための塾代補助金制度を導入。
- 空き教室を活用し、地域ボランティアによる遊びや学習支援を提供。

2 福祉・健康 健康と安心が広がる、 由利本荘市へ

住民が健康で安心して暮らせる環境づくりを進めます。地域の絆を深めるとともに、誰もが利用しやすい福祉施設や健康促進の仕組みを整備します。

- 健康づくりを支援するため、公共施設の利用促進を図ります。
- 健康に関するイベント、検診スケジュール、施設の利用案内などを発信。
- 発達に課題がある子どもへの早期支援を目的とした養育支援体制を市内に構築。
- 災害時の避難生活で健康被害を防ぐため、避難所に簡易エクササイズマニュアル等を常備。

3 まちづくり 地域資源を未来資源に。 みんなで創る由利本荘市

人口減少が進む中で増える空き家を活用し、新たな価値を創出します。移住者誘致や地域交流拠点としての整備を通じて、魅力あるまちづくりを推進します。

- 空き家や空き地を活用し、起業支援や地域の居場所づくりを提供。
- 地域に根付いた文化や暮らしを守り、観光や教育的な価値や魅力を発信。
- 四季折々のイベントを開催し、季節を感じられる体験で観光客を誘致。
- 地域の活性化と観光資源の価値向上に向けて、市民と観光客が交流できるマーケットやイベントを定期開催。

4 産業 自然の恵みで未来を拓く 産業のまちへ

由利本荘市の豊かな自然と高品質な特産品を地域の誇りとして活用します。観光業や農水産業の強化を通じて、地域の経済をさらに活性化します。

- 農機具購入の助成だけでなく、レンタルも補助金の対象とし経済的負担を軽減。
- 観光漁業として新たな収益源を確立。
- 地形やジオパーク等の自然を活かした観光事業を国内外に発信。
- 世界ジオパーク認定を目指して、自然を保護しながら観光を楽しめる環境を整備。

5 経済 家庭も仕事も大切にできる、 誰もが輝くまちへ

地域の中小企業や新たな事業を支えるための支援を充実させます。子育てや介護をしながらでも就業できる、柔軟な働き方や新しい雇用の創出を目指します。

- 空き時間の活用を提案する「スキマバイト」事業を企業と提携。
- 地域企業と連携し、企業側の負担を軽減しつつ、リモートワークやフレックスタイム制度を推進。
- 大学の学びを活かせるインターンシップを地域内で実施し、地元企業や自治体での実務経験を提供。

6 若者にも政治に関心を持ってもらうために 若者の力で、 由利本荘市に新時代を

若者が地域課題や政治に関心を持てる環境を整備します。行政の透明性を高め、市民が市政に参加しやすい仕組みをつくりまします。

- 若者向け研修制度やインターンシップで、地域の農業・観光業への関心を高めます。
- 地元の学生と企業が協力する課題解決型プロジェクトを実施。
- 若者向けにビジネスコンテストを開催し、新しい事業を支援。
- 行政の見える化を推進し、信頼を高めるとともに、市民が政治に関わりやすい環境を整備。